

第6章 京阪藤森地区の課題・問題点

京阪藤森地区の課題・問題点については、これまで4回開催した「京阪藤森地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」（以下「連絡会議」といいます。）において数多くの意見をいただきました。また、連絡会議の下に設置した分科会により現地踏査を実施し、京阪藤森駅、生活関連経路を主体とした道路などの実態を調査して、詳細な課題・問題点を抽出し、意見交換を行いました。

ここに、これらの概要として、主な課題・問題点などをまとめました。

また、京阪藤森地区内に位置する主要な建築物について、バリアフリー施設等の現況を調査しました。

1 駅の課題・問題点

以下の区分に基づいて、京阪藤森駅の主な課題・問題点などの概要を示します。

ア	利用動線	：段差解消の状況やエレベーター、エスカレーターの設定状況など
イ	情報案内設備	：誘導・警告ブロックの設定状況やホーム上での音声・文字情報案内の状況など
ウ	利便設備	：車いす対応型トイレや休憩設備（ベンチ、待合室）の設定状況など
エ	個別設備	：券売機や改札口の状況など

ア 利用動線

- (ア) 改札前に放置自転車が多い。
- (イ) 道路から下りホームに至るスロープの幅が狭く勾配がきつい。
- (ロ) 上りホームにスロープがない。
- (ハ) 北側のホームの幅が狭くホーム柵がない。
- (ニ) ホーム上の鉄柱や電柱など危険な障害物はパッドを巻くなど、ぶつかっても安全なようにしてほしい。
- (ホ) 車両からの降車時にホームの幅が狭い箇所に降車しないための情報案内をしてほしい。
- (ヘ) 車両とホームとの段差や隙間が大きい。
- (ヘ) 階段が多く、車いすに対応できていない。
- (ト) エレベーターやエスカレーターが設置されていない。
- (チ) 西側に改札口を設置して、段差のない経路を整備してほしい。
- (リ) 階段の蹴込みが高く、階段そのものの角度が急になっている。

イ 情報案内設備

- (ア) 他社線の表示等案内表示が小さい、色がはげているので、分かりやすくしてほしい。
- (イ) 点字の案内表示がどこにあるのか分からないので、各駅の設置場所を標準化するか、音声案内をしてほしい。
- (ロ) 路線案内図や料金表の文字が見えにくい。
- (ハ) 点字の料金表を五十音順ではなく、区間ごとにまとめるなど分かりやすくしてほしい。
- (ニ) 運行情報を紙に書いて貼り出すなどして目に見て分かるようにしてほしい。
- (ホ) 車両の種別、行先や運行の遅れ状況などの情報表示装置がない。

- (キ) ホーム内のベンチやトイレ等を誘導し、ガイド性を持った誘導ブロックや障害物を知らせるための警告ブロックを設置してほしい。
- (ク) ホームの内方向を示す内方線ブロックを設置してほしい。
- (ケ) ホームの案内放送の音量が小さいので、聞こえやすくしてほしい。
- (コ) 聴覚障害者に対応した電光式の行先案内表示板を設置してほしい。
- (カ) 文字案内しているものを音声案内してほしい。
- (セ) 改札から外への誘導ブロックがない。
- (ソ) 改札を出た際の周辺の案内表示がない。

ウ 利便設備

- (ア) 手すりの点字が読みにくく、ついていないところがある。
- (イ) 階段踊場からトイレにかけての段差やトイレ入口に段差がある。
- (ウ) 多機能トイレがないので、温水が利用できるオストメイト対応型トイレを設置してほしい。
- (エ) トイレをきれいにしてほしい。
- (オ) 洋式トイレを設置してほしい。
- (カ) トイレ内に手すりや誘導ブロックを設置してほしい。
- (キ) トイレのレイアウト図を設置してほしい。

エ 個別設備

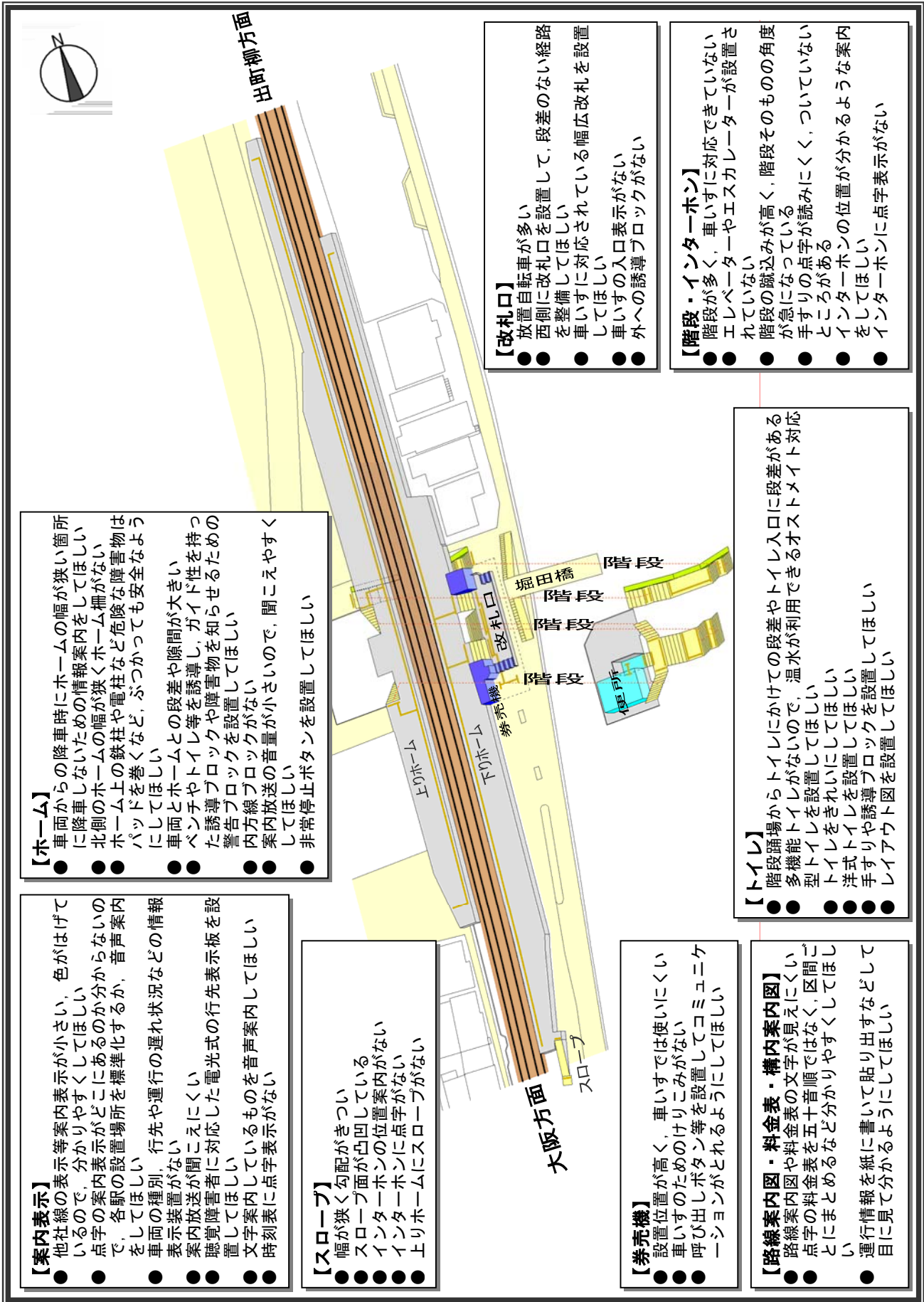
- (ア) 券売機の設置位置が高く、車いすでは使いにくい。
- (イ) 券売機に車いすのためのけりこみがない。
- (ウ) 券売機に呼び出しボタン等を設置してコミュニケーションがとれるようにしてほしい。
- (エ) 車いすに対応されている幅広改札を設置してほしい。
- (オ) 改札口に車いすの入口表示がない。
- (カ) 階段付近のインターホンの位置が分かるような案内をしてほしい。
- (キ) 階段付近のインターホンに点字表示がない。
- (ク) ホーム上の時刻表に点字表示がない。
- (ケ) ホーム上に非常停止ボタンを設置してほしい。

この区分に基づく京阪藤森駅のバリアフリー状況を表一7に示します。また、京阪藤森駅の課題・問題点マップを図一10に示します。

表-7 京阪藤森駅のバリアフリー状況

鉄 道 名		京阪電気鉄道		
路 線 名		京阪本線		
駅 名		藤森駅		
駅 の 構 造		地上駅		
1日平均乗降客数(平成18年)		15,204人		
最大段差	出入口～改札口(改札外)	0.0m		
	改札口～プラットホーム(改札内)	1.37m(地下ホーム連絡通路～ホーム:4.76m)		
段差解消の状況	出入口～改札口(改札外)	○	平坦	
	改札口～プラットホーム(改札内)	×	段差あり, チェアメイト	
情報案内設備	誘導用・警告用ブロックの設置状況	○	出入口～券売機～改札口～プラットホームに連続して有り	
	ホーム上での運行情報設備	音声案内	○	有り
		文字情報	×	列車接近表示機能, 緊急情報表示機能有り
	券売機に併設した点字料金表示	○	有り	
利便施設	トイレ	×	車いす対応型トイレ無し	
	休憩設備	○	ベンチ有り	
個別設備	プラットホーム	○	ホーム端の転落防止柵及びホーム上の警告用ブロックが共に有り	
	券売機	×	無し	
	改札口	×	無し	

図-10 京阪藤森駅の課題・問題点



2 周辺道路等の課題・問題点

京阪藤森地区における道路の課題・問題点などの概要を示します。

また、道路などの課題・問題点マップを図一11に示します。

(1) 生活関連経路Ⅰ（市道 深草西浦緯15号線（通称：竹田出橋通）：深草西浦南公園～師団街道）

- (ア) 木の根の押し上げなどによる舗装の凸凹をなくしてほしい。
- (イ) グレーチングの網目が大きい。
- (ウ) 横断勾配がきつい。
- (エ) 車道部を縮小して歩道の幅を広くしてほしい。
- (オ) 誘導・警告ブロックを連続させてほしい。
- (カ) 深草西浦南公園の入口部分の段差をなくしてほしい。
- (キ) 視覚障害者用の音響信号を設置してほしい。

(2) 生活関連経路Ⅱ（市道 河原町十条観月橋線（通称：師団街道）：竹田出橋通～市道六地藏竹田線）

ア 道路部

- (ア) 舗装の凸凹をなくしてほしい。
- (イ) 縦断勾配がきつい。
- (ウ) 師団街道のクランク部の横断歩道橋が歩行者の通行の支障となっている。

イ 竹田出橋通との交差点

- (ア) 交差点内のグレーチングの網目が大きい。

(3) 生活関連経路Ⅲ（市道 六地藏竹田線：京都市青少年科学センター～師団街道）

- (ア) 舗装の凸凹をなくしてほしい。
- (イ) 歩道内の電柱が通行の支障となっているので移設してほしい。
- (ウ) 放置自転車を撤去してほしい。
- (エ) 車止めが邪魔になっている。

(4) 生活関連経路Ⅳ（市道 深草緯5号線：名神高速道路南側東西道路（師団街道～京阪藤森駅西側））

- (ア) 歩行者が通行する場所が明確でない。

(5) 生活関連経路Ⅴ（市道 深草緯4号線，深草緯81号線，深草経176号線：京阪藤森駅西側南北道路（名神高速道路～京阪藤森駅北踏切））

- (ア) グレーチングの網目が大きい。
- (イ) 横断勾配がきつい。
- (ウ) L字側溝が凸凹している。

(6) 生活関連経路Ⅵ (市道 深草緯74号線, 深草疏水通: 京阪藤森駅北踏切~極楽橋)

ア 道路部

- (ア) ベンチを置くなど歩行空間の整備をしてほしい。
- (イ) 舗装の凸凹をなくしてほしい。
- (ウ) 縦断・横断勾配がきつい。
- (エ) 放置自転車が邪魔になっている。

イ 京阪藤森駅北踏切

- (ア) 歩行者空間を広げてほしい。
- (イ) 舗装の凸凹をなくしてほしい。
- (ウ) 踏切へと結ぶ経路の縦断勾配がきつい。
- (エ) グレーチングの網目が大きい。
- (オ) 車いすがレールの溝にはまらないようにしてほしい。

(7) 生活関連経路Ⅶ (市道 六地藏竹田線: 極楽橋~本町通)

- (ア) 歩行者空間を明確にしてほしい。
- (イ) 放置自転車や路上駐車が多い。

(8) 生活関連経路Ⅷ (市道 本町通: 深草小学校西側~大岩街道)

- (ア) 歩道を設置してほしい。
- (イ) 電柱や街路灯が通行の支障となっているので移設してほしい。
- (ウ) 本町通への陳列商品のはみ出しをなくしてほしい。
- (エ) 放置自転車や路上駐車が多い。

(9) 生活関連経路Ⅸ (市道 深草緯248号線: 本町通~大岩街道)

- (ア) 歩道を設置してほしい。
- (イ) 商品のはみ出しをなくしてほしい。
- (ウ) 放置自転車や路上駐車が多い。

(10) 生活関連経路Ⅹ (主要府道 大津淀線 (通称: 大岩街道): 本町通~市道深草緯248号線)

ア 道路部

- (ア) 歩道の幅が狭い。
- (イ) 舗装が凸凹している。
- (ウ) 歩道内の電柱が通行の支障となっているので移設してほしい。
- (エ) グレーチングの網目が大きい。

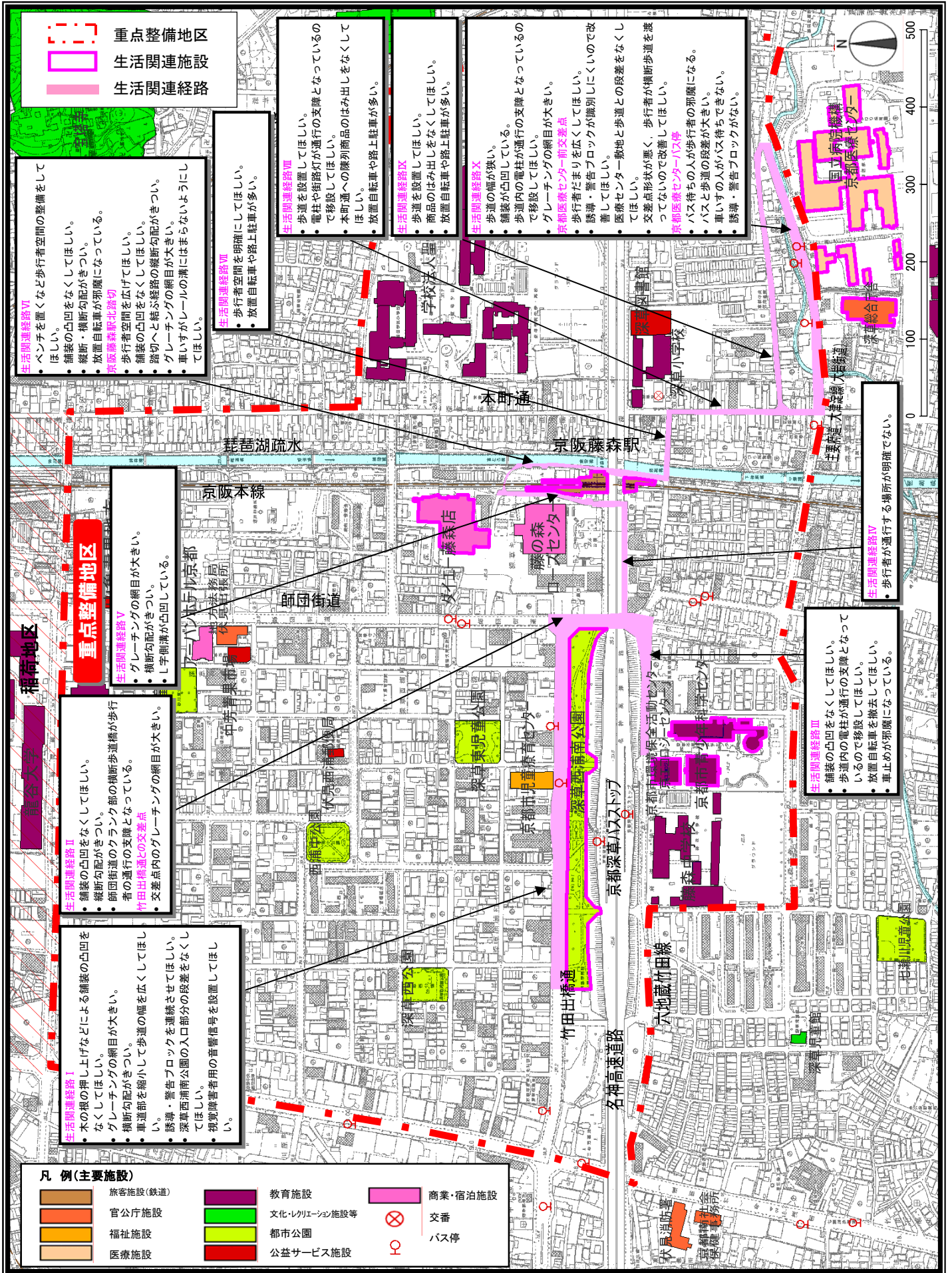
イ 京都医療センター前交差点

- (ア) 歩行者だまりを広くしてほしい。
- (イ) 誘導・警告ブロックが識別しにくいので改善してほしい。
- (ウ) 医療センター敷地と歩道との段差をなくしてほしい。
- (エ) 交差点形状が悪く、歩行者が横断歩道を渡ってないので改善してほしい。

ウ 京都医療センターバス停

- (ア) バス待ちの人が歩行者の邪魔になる。
- (イ) バスと歩道の段差が大きい。
- (ウ) 車いすの人がバス待ちできない。
- (エ) 誘導・警告ブロックがない。

図-11 道路の課題・問題点



3 京阪藤森地区の交通の課題

京阪藤森地区は、駅を中心に商業施設が立地しているほか、官公庁施設や教育施設、医療施設など日常生活に必要となる施設が多く立地しており、地区内には多数の公園が整備されていることから、『安心・安全に生活でき、快適で温もりのあるまち』として、まちづくりを進めています。

そのためには、そこで生活する住民や数多く訪れる人々が、安心して快適に歩くことができる「まち」にする必要があります。

しかし、現在は、幹線道路の慢性的な渋滞、細街路における多くの通過車両及び多くの放置自転車など様々な交通問題を抱えています。このような状況では、バリアフリーの取組の効果も減少してしまいます。

このため、当該地区のバリアフリー化を推進するためには、地区の交通問題に対する京都市の他の施策と連携し地区の交通環境を含めた取組が必要です。

4 京阪藤森地区の生活関連施設における課題

京阪藤森地区は、官公庁施設や教育施設、医療施設など日常生活に必要となる施設が多く立地しており、高齢者や障害のある方などの利用が多い施設も数多くありますが、視覚障害者誘導用ブロックや多機能トイレが未整備であるなど、一部に十分なバリアフリー対応がされていない箇所があるため、これらの改善に向けて継続した取組が必要となっています。